

私立

関西医科大学

問合せ先 入試センター(教務課入試係)

☎573-1010 大阪府枚方市新町2丁目5番1号

☎(072)804-0101 <http://www.kmu.ac.jp/>

教育目標&特色

昭和3年に大阪女子高等医学専門学校として創設され、建学の精神「慈仁心鏡」に則り、自由・自立・自学の学風のもと、学問的探究心を備え、幅広い教養と国際的視野を持つ人間性豊かな良医を育成することを教育の理念としている。教育目標は、「科学的な観察力・思考力・表現力を身につける」「社会的・国際的に貢献できる医学知識と実践的医療技術とを修得する」「患者の痛みの分かる心もち、患者の立場になって行動する態度を身につける」「自ら問題を解決する能力と生涯にわたって学習を継続する姿勢とを養う」の4つ。平成25年にオープンした新キャンパスは、自然環境にも配慮し、いつも身近に緑を感じられるレイアウトでプランニングされているのが特徴。隣接する附属病院との連携体制が一層強化され、超近代的な環境を誇る医学教育の場となっている。

カリキュラムの特色

平成25年度から教養教育と専門教育が6年一貫教育の枠組みの中でバランスのとれたカリキュラムとなるように改訂された。入学すると、まず理数系科目、Human Biology、総合人間医学を学ぶ。総合人間医学は4年間かけて学ぶ人間医学の入門編で、講義、コミュニケーション技法とともに新しく模擬人体に触れるシミュレーション実習を取り入れている。また、医療の現場を早期から体験する早期体験実習や早期医療実習を行う。英語の学習は6年間続き、外国の文化や科学の最新情報を知り、世界を舞台に活躍する医師になるために国際性を身につける。2年次は、医学の基礎となる最も重要な基礎知識を習得する期間で、医化学、解剖学、生理学、微生物学などを学び、Research mind(科学する心)を身につける。また、研究医養成コースが具体的に始まり、疾患の原因について学習する病理学、医動物学、治療に直結する薬理学は臨床医学への次のステップになる。3年次の2学期から臓器別系統別コースが始まり、呼吸器、循環器など臓器別に疾患の病態生理、症候、診断や治療法などを学習。全人的医療学コースでは患者と接する医師としての態度の修得も目指している。3学期には配属実習として4週間をかけて国内外の基礎・臨床の研究室で科学する目やボランティア精神を養い、また語学研修や地域実習などを通して社会における医療の役割などを学ぶ。4年次には、消化器をはじめ救急、麻酔、再生医療、リハビリテーションなど17種類の臓器別系統別コースを履修し、次に控えた臨床実習へ万全の態勢で臨む。5年次には、参加型臨床実習(クリニカル・クラークシップ)が附属3病院(附属病院、総合医療センター、香里病院)で始まり、学生はStudent Doctorとして、臨床の場で医療スタッフの一員として22診療科を9か月かけて臨床経験を積む。学生は患者と接するために必要な医学知識と医の倫理・態度教育を修得していることが求められことから、すでに学んできた基礎知識を復習し臨床の場で実践するために各科でMoodleシステムを用いて知識のレベルをチェックする。6年次では、5年次の1月以降にスタートした選択制臨床実習が6月末まで続くが、4大学相互選択臨床実習(大阪医科大学・近畿大学・兵庫医科大学と連携)や国外臨床実習など、幅広い現場で実践経験を積むことが可能である。実習終了後は、PostCC-OSCEで卒業に値する技能を身につけているかを確認し、2学期からは全科のまとめの講義と卒業試験があり、国家試験に備える。

大学DATA

- ◆沿革 昭和3年創設の大阪女子高等医学専門学校が前身。昭和24年に旧制の大阪女子医科大学となり、昭和27年に新制の医学部となった。昭和29年に現校名に改称した。
- ◆学部所在地 *枚方キャンパス=問合せ先に同じ。[アクセス](#)京阪電車枚方市駅下車、徒歩約5分。
- ◆学部学科・定員 医学部=医学科122名
- ◆大学院 医学研究科=医学専攻30名、先進医療学専攻20名
- ◆おもな附属施設 附属病院、総合医療センター、香里病院、天満橋総合クリニック、生命医学研究所など。
- ◆学寮 設置していない。

参考資料

●医師国家試験合格率

区分	全 体				新 卒				既 卒			
	志願者	受験者	合格者	合格率	志願者	受験者	合格者	合格率	志願者	受験者	合格者	合格率
2017	138	125	104	83.2%	123	110	94	85.5%	15	15	10	66.7%
2016	133	123	109	88.6%	123	113	101	89.4%	10	10	8	80.0%
2015	124	116	105	90.5%	110	103	99	96.1%	14	13	6	46.2%

●学校納付金(2018年度)

区 分	入学手続時	初年度総額	2年次以降
入学金	1,000,000円	1,000,000円	-
授業料	1,200,000円	2,400,000円	2,400,000円
実験実習費	150,000円	300,000円	400,000円
施設設備費	500,000円	1,000,000円	1,100,000円
教育充実費	500,000円	1,000,000円	500,000円
合 計	3,350,000円	5,700,000円	4,400,000円
6年間総計	27,700,000円		

*ほかに諸会費(慈仁会費・学生自治会費)が初年度160,000円、2年次以降56,000円必要になる。

*入学手続終了後に任意の寄付金・学債を募集する。

●奨学金制度

日本学生支援機構奨学金のほかに、関西医科大学学生奨学金(年額2,800,000円以内を貸与)、関西医科大学学生奨学金特別枠(年額1,000,000円を限度に貸与)、研究医養成コース貸与奨学金(年額1,000,000円を貸与)、大阪医科大学慈仁会給付奨学金(月額50,000円を給付)などがある。

2018年度入試要項

募集人員

区分	一般前期	一般後期	セ試利用	推薦	AO	編入学
医学科	85	7	15	10	-	-

*一般は前期・後期合わせて5名増員する(内訳は未定)。

*一般(前期・後期)に大阪府地域枠5名、静岡県地域枠5名を含む。研究医養成枠2名は入学後に募集する。

*大阪府地域枠は府内の高校または保護者が府内居住で、救急・周産期医療の分野や地域の公立病院等で医療に従事する意志のある者、静岡県地域枠は県内の地域医療に従事することを確約できる者が対象。

試験日程

試験区分		出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
一般前期	1次試験	12月11日～1月17日	1月27日	2月7日	
	2次試験		2月12日	2月16日	2月23日
一般後期	1次試験	1月29日～2月22日	3月3日	3月9日	
	2次試験		3月13日	3月16日	3月23日
センター利用	センター試験	9月26日～10月6日	1月13日・14日	2月7日	
	2次試験	12月11日～1月12日	2月12日	2月16日	2月23日
推薦入試	1次試験	11月1日～11月13日	書類審査	11月21日	
	2次試験		11月26日	12月1日	12月11日

*入学辞退者の学費返還申出期限は3月31日。

*2次試験合格発表時に補欠者を発表し、欠員が生じた場合は、順次繰上げ追加合格者を発表する。

一般入試

試験区分	教科	科目(→は選択科目数)	配点	時間
1次試験	数 学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(列べ)。	100	90
	理 科	物基・物、化基・化、生基・生→2。	200	120
	外国語	コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ。	100	80
	小論文		段階評価	45
2次試験	面接	個人面接。	段階評価	-

センター利用入試

試験区分	教科	科目(→は選択科目数)	配点	時間
センター試験	国 語	国(近代)。	100	80
	数 学	数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数Bの計2。	各100	各60
	理 科	物、化、生→2。	各100	各60
	外国語	英(リスニングを含む)。	200	80
2次試験	面接	個人面接。	段階評価	-

推薦入試

①**推薦条件**＝本学で初期研修を行った後、本学が指定する医師不足地域・診療科(産婦人科、小児科、救急医学科、外科、内科など)に勤務することを確約できる者が対象。普通科・理数科で人物・学力に優れた全体の評定平均値が4.0以上で、国語、地歴・公民、数学、理科、外国語の評定平均値が4.0以上の現役。高校で、数Ⅰのほか数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数Bのうち2科目以上(理数科は理数数学Ⅰ・Ⅱ)、物・化・生(理数科は理数物理・理数化学・理数生物)のうち2科目以上、コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・英表Ⅰを履修した者。②**選考方法**＝書類審査の合格者に小論文・適性検査(数理的問題・英文問題を含む)・面接(集団・個別)を課す。

* **合否判定** 一般は 1 次の合格者に 2 次を課す。センター利用はセンター試験の合格者に 2 次を課す。いずれも学科試験は総合点で選考する。小論文・面接は段階評価を行う。

* **試験場** 一般前期＝1 次はインテックス大阪(ニュートラムで中ふ頭駅下車、徒歩約 5 分)・東京(TOC 五反田メッセ)・名古屋(TKP ガーデンシティ PREMIUM 名古屋新幹線口)・福岡(南近代ビル)、2 次は本学枚方学舎(京阪電車枚方市駅下車、徒歩約 5 分)。一般後期＝1 次は本学枚方学舎、2 次は本学枚方学舎、センター利用＝2 次は本学枚方学舎、推薦＝2 次は本学枚方学舎。

* **受験料** 一般 60,000 円、センター利用 30,000 円、推薦入試 60,000 円

入試のポイント

来春の試験日は、一般前期の 1 次が獨協医科大(一般・地域枠) 1 次、順天堂大東京都地域枠 2 次のほか相手校の受験日によって岩手医科大 2 次、国際医療福祉大 2 次、順天堂大(A 方式・地域枠) 2 次、帝京大 1 次、川崎医科大(一般・地域枠) 2 次と重複、2 次は産業医科大 2 次(学力)と重複、一般後期の 1 次は昭和大Ⅱ期 1 次と重複、2 次は東海大セ試利用後期 2 次と重複。セ試利用の 2 次は産業医科大 2 次(学力)と重複する。

入試科目は、一般 1 次が数学・理科・英語の 3 教科＋小論文、2 次は面接。数学・理科・英語の 3 教科とも幅広い分野からレベルの高い問題が出題されることが多いから、教科書を中心に基礎を固め、参考書等で高度な応用力をつけておきたい。過去の入試問題をみると、数学は大問 4 題。標準的良問が中心だが、計算力をつけておきたい。理科は物理・化学・生物から 2 科目選択だが、試験場で問題を見てから選択できる。問題数は物理 5 問、化学 4 問、生物 5 問。化学は問題文が長く、難易度も高い。英語は 4 問(文法 2 問・読解 2 問)だが、相当に長い文章を速読する読解力が要求される。

2017年度入試DATA

●入学者選抜実施状況

区分	募集人員	志願者	受験者	1次合格	2次受験	正規合格	補欠者	補欠合格	合格者	競争率	入学者
一般(前期)	85	2,154	1,953	368	338	153	166	*	*	12.8	97
一般(後期)	7	696	618	32	28	7	20	*	*	88.3	3
セ試利用	15	766	762	132	104	29	47	*	*	26.3	7
推薦	10	47	47	47	46	10	-	-	10	4.7	10

*補欠合格者は非公表。

【合格者の成績】

カッコ内は2016年度。

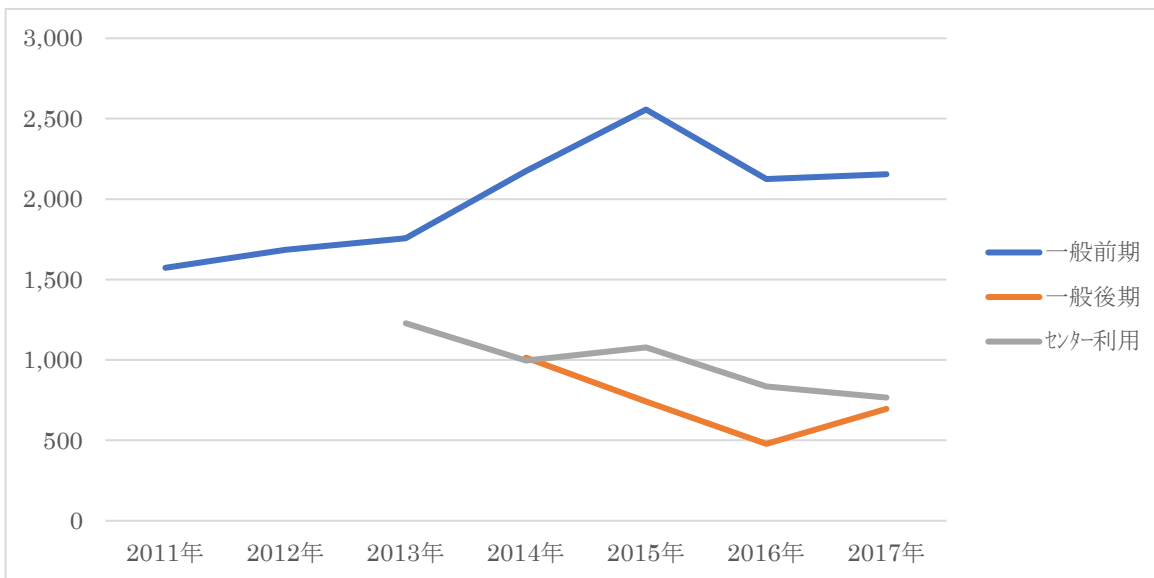
区分	配点	最高点	最低点
一般(前期)	400(400)	275(310)	203(230)
一般(後期)	400(400)	234(257)	224(228)
セ試利用	700(700)	672.2(677.8)	623.2(626.0)

*入学者の現浪別内訳 現役 24人、浪人 93人。

*入学者の男女別内訳 男子 74人、女子 43人。

*入学者の出身地別内訳 大阪 42人、兵庫 15人、京都 13人、愛知 7人、東京・和歌山各 5人、滋賀・奈良各 4人、静岡・三重・岡山・愛媛・福岡各 2人、千葉・福井・岐阜・鳥取・広島・徳島・香川・高知・長崎・宮崎・鹿児島各 1人。

【志願者数の推移】



●小論文の内容

一般入試(前期・後期)・推薦入試とも2次で課す。一般はテーマ作文で、今春は前期が「健康寿命について」、後期が「人工知能と医学について」、昨春は前期が「人とロボットの共存について」、後期が「海外医療ボランティアについて」、2015年は前期が「超高齢化社会と医療について」、後期が「しつけと小児虐待について」考えを論述させた。

●面接の内容

一般入試(前期・後期)・センター利用入試・推薦入試とも2次で実施する。一般・センター利用は個別面接、推薦は集団面接と個別面接を行う。個別面接は志望の理由、高校生活について、趣味について、何科に進みたいかなどが聞かれる。